



共同代表: 島 042-327-9330 深澤 042-341-7524 e-mail: kodaira_kankyo@jcom.zaq.ne.jp

講演会 PFAS 問題(水汚染)を追って—立ちはだかる日米地位協定 報告

2023年9月30日(土)午後 於: 国分寺 Cocobunji プラザリオンホール A

「PFAS 汚染問題を考える会」(当会を含む小平、練馬の3市民グループで組織)第2回目の講演会は、まず東京新聞記者・松島京太さんが現時点におけるPFAS汚染をめぐる動向について次のように話された。

防衛省が横田基地で泡消火剤が漏れ出ていたことを、英国人記者ジョン・ミッチェル氏の記事から知りながら、省内の連係ミス(と防衛省は言っている)で4年半もの間放置していたことが2023年7月に明らかになった。米軍は「基地外へ流出したとは認識していない」としたが、オスプレイ配備に関する別の文書では基地内の地下水が南南東方向に流れていることを認め、実際その方向にある「横田基地モニタリング井戸」では都の調査で都内最高値 1340ng/lを検出した。

東京都港区の「ニュー山王ホテル」(米政府・軍関係者の専用宿泊施設)で3月に開かれた、日米両政府の関係者による環境分科委員会(ESC 日米地位協定の下に設置)の録画映像を、2023年6月22日米側がツイッターで突然公開。これは初めてで異例のことだったが、PFAS問題に絡んで環境分野の情報発信を強めたいという米側の意図があったと思われる。しかし翌朝には削除。在日米軍司令部に公開や削除の意図を問うも、返答はないという。日本政府が消すよう働きかけたとも言われており、隷属的な「日米地位協定」を守りたいのは誰なのか?との疑問がわく。

また、小池百合子東京都知事は7月6日に「基地内の環境調査はなかなか難しい」と言っていたが、浜田靖一防衛大臣は7月11日、「(横田基地への立ち入り調査について)関係自治体から具体的な要請があれば関係省庁と連携し、米側に働きかけていきたい」と語った。「調査要請する上で必要」と知事が言っていた泡消火剤の漏出場所や量も公表したが、都はその後何もしていない。9月3日、立川市長選でPFAS対策を訴える酒井大史氏が初当選。「東京都、近隣市と共に、防衛省に働きかけていきたい」としている。お話を聞いて、今後の多摩地域の関係市や市民の動きが重要になると思った。

続いて、東チモールなど世界各地の紛争後処理に携わった東京外国語大学名誉教授・伊勢崎賢治さんが日米地位協定の問題について、そもそも論からお話しされた。以下、かいつまんで紹介する。

米軍が相手政府を倒して軍事占領すると「軍事業務協定」を結び軍が主権を持つが、平和時になり相手国が主権を持つと「地位協定」となる。現地政府の主権の放棄を決めるのが地位協定だが、普通の地位協定であれば裁判権放棄の範囲に民間業者は含まれない。日本だけは業者まで軍人と同じく日本の裁判権の及ばない軍属に入る(他国から言わせたら異常)。互惠性=法的な対等性、「自由なき駐留」が世界基準。

地位協定は戦力を送る国がその異国に代わって裁くという法の支配が前提になっているが、この点で日本は加害者としての地位協定も持っている。当時、政権にあった民主党が結んだ「日ジブチ地位協定」(ジブチはアフリカ東部の小国で日本が半永久的基地を持つ)では、「国外犯規定=日本人が国外で働く場合、国外で犯す業務上過失は日本の国内法で裁けない」を持った日本が、公務外・内において、ジブチ政府

目次

講演会 PFAS 問題(水汚染)を追って—立ちはだかる日米地位協定	1・2
PFAS 汚染をめぐる多摩地域市民の動き	2
スーパー調査について	3
コラム「我が家の井戸のPFAS汚染」/編集後記	他
他	4

から裁判権を奪った。自衛隊機が墜落しても日本が裁けないという法の空白ができてしまった。地位協定詐欺である。日本の基地権・制空権を米が握り「自由出撃を許す」状態は、米の他の同盟国と比べて“異常”であるが、日ジブチ地位協定は“もっと異常”である。

(板門店の写真を出し) 1951年に北朝鮮が入ってこないように国連軍が駐留して以来、ずっと休戦している。この国連軍は「米軍が作ったものであり、国連の名前を使うことを許しただけであって、国連の管轄外。だから解消に当たっては米がやって欲しい」と言われている。これは冷戦の遺物で、常備軍を持たない国連が軍を持つには安全保障理事会が認めなくてはならないが、この時ソ連は欠席し、中国は今の中国ではなかった。一方「朝鮮国連軍地位協定」を結んでいるのは日本だけで、(日本の飛行機が自由に飛べない) 横田空域はこのためにある。この協定は政治家にもあまり知られていないが、日米地位協定の問題の根源であり、米朝開戦が決定されれば日本は自動的に交戦国になってしまう。

クロストークから

松島：神奈川県横須賀基地について横須賀市が県を飛び越えて調査を要請し実現している。横田基地についても、立川市長が単独で調査をしたいと言ったらできるはず。健康被害を明らかにするための疫学調査は時間も規模も必要で大変だが、海外では健康被害が科学的に認められているので、それを活用すべきではないか。

伊勢崎：日・韓の市民が力を合わせ朝鮮国連軍、朝鮮国連軍地位協定を解消しないとイケない。国連が解消できない国連軍なんてあってはイケない。憲法 9 条を変えなくても、刑法(自衛隊法)改正で自衛隊を米軍と法的に対等にすることはできる。自衛隊を戦力と認めることになるが、護憲派はこの点で変わらないとイケない。米軍を日本から追い出すには時間がかかるから、まず対等になることを目指そう。PFAS 問題を契機に、沖縄だけでなく東京都民も我が事として、党派を超えて取り組めるのではないか。

(島)

なお、講演の録画は labornetTV の YouTube チャンネルで公開されています。

<https://www.youtube.com/watch?v=9oftLRo5gJQ>

PFAS 問題に、小平市はどう取り組むべきか

市議会 12 月定例会の一般質問でも PFAS 問題が取り上げられました。まず問題視されたのは、2020 年 7 月に 270ng/L の PFAS が検出され、井戸水の取水が停止されていた小川給水所で、11 月中旬に都が井戸水の取水を再開したことです。再開について都から市への情報提供がなかったため、市は都に水源井戸の停止や再開について速やかに公表し、情報提供すること等を求める要望書を 11 月 24 日に提出しました。PFAS の現状値が公表されないまま取水が再開されたことは大きな問題です。

また、血液検査や民間所有の井戸水の検査、PFAS による地下水汚染の原因と疑われる横田基地への立ち入り調査を求める質問もありました。40~74 歳の国民健康保険加入者を対象として市が実施している特定健康診査の検査項目に PFAS の血中濃度を加えることはできないのか、また、調布市のように、民間の井戸所有者の希望に応じて PFAS 濃度の検査を実施してはどうか、などが求められましたが、ゼロ回答です。

横田基地への立ち入り調査については、1 ページ目の報告にあるように、防衛省は、関係自治体から具体的な要請があれば米側に働きかけていきたい、としています。多摩地域の自治体を動かし、立ち入り調査をして汚染源を特定するには、市民が連帯して声を上げる必要があります。(水口)

* スーパーマーケット環境対策調査 2023 について *

スーパー調査をすることになった経緯

きっかけは、3R 全国ネットニュースで呼び掛けられた、京都の団体「NPO 法人環境市民」の堀孝弘さんからの提案だった。京都では 2022 年 11 月にスーパー 62 店舗もの調査をし、2023 年 3 月には、京都市内で「スーパー調査で、市民で見つけた好事例報告会」を開催し、市民 80 名、スーパー本社 5 社、自治体 3 市の参加を得たと言う。調査の主旨は、スーパー店頭でどれだけのプラスチックが使われていて、「減らすための取り組み」がなされているか、2023 年の状況を調べ、2030 年に向けて、減らす努力をしているスーパーを応援していきたい、というものである。調査結果は各地の市町村や調査店にお知らせする予定。

小平・環境の会でも、過去にスーパーやコンビニの調査をし、申し入れを行ったこともあったが、それからずいぶんと時を経ていた。売り場の調査を改めて行う、しかも全国規模で…、これは魅力的なお誘いを感じた。早速役員会に諮り、役員全員の了承を得た。そして堀さんと連絡を取った。

堀さんから送られてきたスーパー調査の項目には、細かなもの、大まかなもの、色々あったが、下記の大森さんも書いていらっしゃる「海のエコラベル」なるものは初めて聞く言葉とラベルだった（残念ながら、小平市内の私たちが調査した範囲では見ることはできず）。

それから何度か堀さんと連絡を取り合い、小平市内でスーパー調査をお願いする店舗を決めていった。スーパーによっては、環境の会独自に「調査へのご協力をお願い」を送り、調査を了承頂いたところもあった。そうして、小平市内では、いなげや 2 店舗、あまいけ 2 店舗、西友 2 店舗、ピーコック、コープみらい、サミットストア、ヤオコー各 1 店舗、計 10 店舗の調査をすることとなり、10 月から 11 月にかけて環境の会運営委員二人ずつでスーパーを訪問し、調査は無事終わることができた。

実際に調査をしてみて、思ったよりもはだか売りが増えていたこと魚や肉のトレイ抜き販売品も増えていたこと、ビンの販売もあった事など、普段あまりスーパーで買い物をしない私には、驚く事も多くあった。今から結果が出るのが楽しみである。（島）



「スーパーマーケット環境対策調査 2023」に参加して

普段食料品などを買いに入っている店舗内の調査でしたが、調査項目の観点を意識したことは無かったので、初めて入る様な緊張と不安を感じながら 1 店舗目内を巡る。

比較的狭い店内であり、外にも野菜を陳列してあり、調査対象品目の量のカウントで出たり入ったり、次にはスペースの割合を測るため出たり入ったり、これで調査の要領を理解できたため、次項目からはスムーズに進む。

鮮魚売場では、「海のエコラベル」認証の水産物の扱いを示す掲示は在りますか、の調査ですが、「MSC 認証」「ASC 認証」「ブルーシーフード」等は初めて知った次第。

※「MSC 認証」ラベルの付いた商品は、スーパーで気軽に手に入る商品から、贈答用品のものまで、その中で日本では 1,100 の商品が登録されており、決して少ない数字ではないのですが、見た記憶がなく驚きました。

飲料売り場では、ビールびん（大びん、中びん）の取り扱いの有無ですが、訪れた 2 店舗の内 1 店舗は、大びん・中びんのビールは陳列されていました。ビール瓶が陳列されていた店舗は駐車場があり、重いびんを持ち帰るのに苦労はそうありません。

見慣れているはずのスーパー店内、普段は購入予定のコーナー中心の買い物であり、違う視点で見て回るといった経験をさせて頂き、良い経験になりました。

記：大森和弘

我が家の井戸の PFAS 汚染

我が家の庭の片隅に、約 25 年眠っていた古井戸を改修して震災対策用として復活させた井戸がある。小平市に登録したのは 2017 年夏のことで、以来 7 年、毎年、市から水質検査を受けている。飲料用としての基準には合格しているが、日常的にはもっぱら庭の散水用として使っている。ただし、災害時には、地域の共同水源として、生活用水として供給する目的がある。

昨秋、多摩地区の地下水が PFAS (有機フッ素化合物) によって汚染されている事実が判明し、汚染源は横田基地であるとされた報道は、まさに青天の霹靂^{ごきれき}であった。

多摩の地下水の流れは、西側から東に向かっているようだ。基地の東側に位置する立川、国立、府中、国分寺に汚染は広がり、小平、西東京にも及んでいる。このエリアに水道水源を持つ東京都は水道水源としての取水を停止していると公表している。これらの井戸は約 200m の深井戸であるが、民間の家庭用の井戸の汚染の実態はどのようなだろう。



我が家の井戸 (約 20m) の水を、早速、市民団体を通して京都大学の原田研究室に送って検査をお願いした。去る 11 月中旬、その結果が判明して、ショックを受けた。96ng/l という数値は、日本の水道水基準の 50ng/l の 2 倍に相当する。もちろん飲料水には不適であるが、何よりも浅井戸にも汚染が広がっている事実の証明ではないか。市内には 130 基の震災対策用井戸があるそうだが、水質検査の項目に PFAS は入っていない。今後、項目に組み込めば、市内の汚染のモニタリングができるはずである。

小平市は早急に水質検査項目に加えて、汚染問題解決に向けた対策の有益なデータを把握すべきだ。大切な地域の宝である地下水を保全し、市民の健康と安全・安心な暮らしを守る一助となると信じる。

(田中清子)

- ・会員のみなさまには、総会議案書と報告、並びに会計報告を同封させていただきます。
- ・11 月 12 日 (日)「回田秋祭り」に参加し、豚汁の皿洗いをしました。久しぶりの皿洗い、「こんなに大変だったっけ？」とぼやく場面も…。でも、この食器洗いも、環境の会の原点の一つです。ごみを出さないために、今後も頑張ります！

訂正：5 月発行の 94 号に誤りがありました。p.2, 3 の真ん中より少し下の PFAS の血中濃度の米基準「20ng/L」は正しくは「20ng/ml」です。お詫びして訂正します。



小平・環境の会

年会費 会員(個人) 1000 円
賛助会員(個人・団体) 5000 円
郵便振替：口座番号 00150-3-514947
加入者名 小平・環境の会

西武信用金庫小平支店
口座名：小平・環境の会
118517(普通預金)

編集後記
久しぶりに川原湯温泉に行き、急な階段をヒューヒュー言いながら見晴らし台に登った。以前は紅葉の吾妻深谷を見渡せたのだが、今は灰色のハツ場ダムがそそり立つだけだ。二〇〇四年に最初に現地に行った時には、二十一世紀にダムはないでしよ、と思った。地滑り、膨大な堆砂、二十年も経てば負の遺産になるのは必定。でも先のことを考えず建ててしまった。今も後先考えず、公共工事は続く。石木ダム、復活川辺川ダム、辺野古移設、リニア新幹線：身近にもあります。先のことを考えたら、すぐに市民の PFAS 血中濃度検査をするべきでしよ、マイクロプラの発生源、人工芝はやめた方がいいでしよ、屈辱的な日米地位協定いい加減どうにかしなきゃでしよ、先のこと考えたら……(深澤)